

枚方市茄子作土地区画整理準備組合

まちづくり通信

第7号

■令和6年4月発行

都市計画に関する市民説明会・公聴会のご報告

令和5年12月に枚方市による市民説明会、令和6年1月に大阪府による公聴会および枚方市による公聴会が開催されました。

用途地域について、工業地域設定に伴い危険性の懸念や、緑を残したい、営農を継続したいというご意見がありました。一方で、工業地域の指定により企業誘致の可能性を広げることで“雇用創出”“関係人口の増加”“地域防災向上”“税収増加”などの地域貢献を目指していけるとのご意見がありました。詳細な陳述内容は所管する枚方市および大阪府のホームページにて公開されておりますので、そちらをご覧ください。

第4回総会のご報告



令和6年3月23日（土）茄子作公民館にて、第4回総会を開催しました。雨が降る中、準備組合員総数124名のうち、代理人出席や議決権行使された方を含めて110名（※議決時）が出席されました。

当日は令和5年度の業務報告をした後、令和6年度予算について議決を諮り、賛成多数により可決されました。総会での主なご質問、ご意見、議決結果につきましては**別添資料**をご参照ください。

環境影響評価 縦覧および説明会のお知らせ

当準備組合では、枚方市条例にもとづき、本事業が周辺環境に及ぼす影響について、事前に調査・予測・評価する環境影響評価（環境アセスメント）の手続きを進めております。このたび、調査・予測・評価の結果をとりまとめた「環境影響評価準備書」について縦覧および説明会を行いますので、お知らせいたします。

【縦覧期間・場所】

令和6年4月15日（月）～5月14日（火）

- ・枚方市 環境部 環境指導課（枚方市田口5-1-1）
- ・枚方市役所6階行政資料コーナー（枚方市大垣内町2-1-20）
- ・枚方市役所各支所 津田支所（枚方市津田北町2-25-1）
香里ヶ丘支所（枚方市香里ヶ丘3-13）
北部支所（枚方市楠葉並木2-29-3）
- ・枚方市茄子作土地区画整理準備組合 HP（URL）<https://hirakata-nasuzukuri.com/>

【説明会日程・場所】

令和6年5月9日（木）午後3時～（開場 午後2時30分～）

令和6年5月11日（土）午後3時～（開場 午後2時30分～）

茄子作公民館（枚方市茄子作4-5-17）

今年度スケジュール

今年度の予定スケジュールをお知らせいたします。8～9月頃の本同意取得に向け、4月頃から全準備組合員を対象に順次面談を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

- ・令和6年4月～ 本同意取得に向けた面談開始
- ・令和6年8～9月頃 本同意取得
- ・令和6年10月頃 都市計画決定、市街化区域編入
※市街化区域での課税は令和7年1月1日からになります。
- ・令和7年1～2月頃 組合設立

閉所日のお知らせ

ゴールデンウィーク期間中の閉所日は以下のとおりです。

閉所日：4月27日（土）～5月6日（月）

皆様へのお願い

準備組合が検討する土地区画整理事業予定区域内に所有されている土地や建物等に関する権利について、以下に該当する異動が生じるときは、問合せ先までお知らせください。

【事前届け出事項】

- (1)土地の賃貸、買取りの申し入れをしようとする場合及び譲渡しようとする場合
- (2)土地利用の変更、建築物・工作物の建設又は解体、除却を予定する場合

【一般届け出事項】

- (1)氏名もしくは名称又は住所に変更があったとき
- (2)法人会員にあっては、その代表者の氏名又は主たる事務所の所在地に変更があったとき
- (3)土地等の権利関係に異動があったとき

【問合せ先】 ご意見、ご質問、個別のご相談など、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒573-0071 枚方市茄子作4丁目3-10 TEL：072-894-7833 FAX：072-894-7834

枚方市茄子作土地区画整理準備組合 事務局（事務局長 岩城、担当 石山）

発行責任者：理事長 岡市敏治

第4回総会での質疑応答やご意見

※ご意見・ご質問は紙面の都合上、要約しています。

※準備組合員総数124名うち総会出席者数110名(本人出席43名、委任状19名、議決権行使書48名)

質疑	回答
ご意見	
第1号報告 令和5年度の業務報告	
質疑・ご意見 なし	
第1号議案 令和6年度予算について →可決 賛成：97票(本人および代理人50票、議決権行使書47票)	
質疑・ご意見 なし	
説明事項 (1)今後のスケジュールについて (2)今後必要となる準備組合員の諸手続きについて	
工業地域が設定されることに断固として反対する。工業地域設定について反対の署名活動をするなかで、そんなものが建てられるのは怖いといった意見もある。絶対に事故が起きないという保証はない。大阪府と枚方市の公聴会にも参加したが、枚方市は何も責任を取らないと言っている。先祖が守ってきた土地を持つ身として、工業地域が設定されることをどのように思っているのか。顔を見合わせ話ができる場で、皆の意見を聞かせてほしい。	令和5(2023)年3月の第2回総会で準備組合として都市計画案を枚方市へ提出することの意思決定をいたしました。今後は行政対応となります。国として主要な部品はできるだけ国内で生産する方向になっており、湾岸部の工場地帯は地震によって壊滅の可能性もあり、国家社会的観点から、高速道路沿道の高台の工業地域は求められています。あらゆる法規制と、進出企業にも防災拠点として協力を要請するなかで、むしろより積極的に災害に対応していきたいと考えています。(理事長)
工業地域反対の署名活動のなかで、春日小学校の保護者から意見をもらった。子どもがいる近くで危険にさらされることは不安である、近くに居住しているにも関わらず開発や工業地域設定について知らされていないのはおかしい、とのことだった。子どもたち、孫たちの時代に事故が起きないとはいえない。安心のできない開発はどうかと思う。	枚方市としては工場の立地にあたっては、工場立地法、消防法、建築基準法などの法に沿って建築されるものと認識しています。都市計画手続きについては、枚方市で手続きを進めておりますが、本地区は組合施行で地域の皆さんが意思決定し進めるまちづくりのため、手続き途中で計画を変更することは望ましくありませんが、もし総会で今のまちづくりの変更、中止を求める方が多くいれば枚方市はそれを止めることはありません。公聴会でも工業地域設定について同様の意見をいただいております。公聴会の内容は都市計画審議会にて報告されたうえで、都市計画の内容について審議されます。(枚方市)
工業地域が防災拠点には絶対にならない。化学工場自体が事故を起こす可能性がある。化学工場は工業地域でないと進出できない。工業地域に設定して高く売らないと、土地区画整理事業の事業費が捻出できない。署名活動の5ヶ月間で、4563名の署名をもって枚方市議会に請願した。地域の発展、雇用の創出とうたっているが、住民のリスクは大きい。	全国で工場事故が起きてきたことは否定しません。しかし、企業はさらなる改善を重ねており、過去に工業地域で起きた事故が最近も継続して起きているわけではありません。また、本エリアは企業の進出ニーズが高いため、「雇用創出」や「地域防災の向上」など、地域の考えに沿った企業を選定していきたいと考えています。(業務代行予定者)
化学工場が来ることが決定しているような意見が出ているが、化学工場が来ることは決定事項なのか？	どのような企業が進出するか現時点では未定です。工業地域だから化学薬品を使用する工場が来るというものではありません。(業務代行予定者)
化学工場以外の企業でも土地を高く買ってもらえるのか。	化学工場だから土地を高く評価するものではありません。例えば地元の企業が高度な研究をしていく際に、その場では研究できず郊外に流出していると聞きます。そのような企業であれば土地を高く評価してもらえると考えています。その他、本エリアを高く評価する企業はあると考えています。(業務代行予定者)
工業地域に設定されると永遠に工業地域になってしまう。何百年続く企業はほとんどなく、初めに来た企業が撤退したら企業間同士の売買になる。また、企業が撤退した跡地はどうしても汚染される。数十年経ってから必ず公害は起きると思っている。	